

## ■□■ 1945±66 琉球処分を終わらせるために ■□■

メア発言は差別的である。  
その事は決して許してはいけない！

許してはいけないのはメア発言だけではない。  
その事に対する日本政府のとった（とらなかった）行動である。  
そこにもうひとつ大事なものが見えてくる。

メア発言は日本（日本人）を侮辱している。  
その中で「ゆすりの名人」と**特に**沖縄人を**特に**侮辱していることで、  
日本人が侮辱されたと思わない感情が生まれたなら沖縄人は日本人ではない  
という感情があることになる。

そこに日本人の本音が見える。  
沖縄人は同じ日本人ではなくたて前上の日本人  
すなわち琉球処分をした「日本人」にすぎない。

山之口獺は言う。  
「僕のことなんか 僕に聞いたって くどくなるだけである 世間を一周してこいと」

1945年、沖縄戦は沖縄の歴史にあまりにも大きな傷跡を残した。  
1879年琉球処分から66年後のことであった。  
時間は崖っぷちにたたされ、その後ゆっくりと沖縄の重力に向かって刻むしかなかった。

そして66年が過ぎたとき、今2011年は1879年と重なる。  
ぐるっと廻ってきたのだ66年と66年をかけて。

いま沖縄は琉球処分を終わらせ日本と対等な関係を築くため動きだしている。

沖縄への米軍基地の押し付けは沖縄差別と認識したとき  
普天間米軍基地は本土へと静かに、そして強く声をあげはじめている。

このことは今までの平和、基地反対などの運動に対する沖縄からの問いかけである。  
いま本土にいる私たちが問われています。

討論が深まるよう皆様の参加を期待しています。

**と き** 2011年5月15日（日）  
午後1時30分開場：2時00分開会

**ところ** 大正沖縄会館（平尾）  
JR大正駅または地下鉄大正駅下車。  
市バス2番のりばより乗車の上「平尾」で下車。

**参加費** 1,000円  
**主催** 5.15実行委員会  
**[連絡先]** 関西沖縄文庫 〒551-0011 大阪市大正区小林東3丁目13-20  
Tel/Fax (06) 6552-6709

講師

仲里効 さん（沖縄在住）